



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社アサンテ

上場取引所 東

コード番号 6073 URL <https://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 征

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 中尾 能之

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,618	2.5	869	23.7	902	22.0	577	24.1
2023年3月期第2四半期	7,818	3.9	1,140	4.4	1,158	3.3	760	3.4

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 621百万円 (20.7%) 2023年3月期第2四半期 783百万円 (5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	52.53	
2023年3月期第2四半期	69.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	14,859	12,033	81.0	1,093.92
2023年3月期	14,457	11,731	81.1	1,067.64

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 12,033百万円 2023年3月期 11,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		31.00		31.00	62.00
2024年3月期(予想)		31.00		31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	4.7	1,450	5.1	1,470	5.3	920	5.0	83.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,348,500 株	2023年3月期	12,348,500 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,347,962 株	2023年3月期	1,360,495 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	10,991,559 株	2023年3月期2Q	10,978,913 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、企業収益も改善が見られましたが、その動きは緩やかとなりました。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの市場におきましては、住宅に関する国策における、既存住宅の長寿命化とメンテナンスを重視する方針は変わらず、莫大な潜在需要規模もそのまま存在するものと見ておりますが、物価上昇等を背景に、消費者の節約志向は依然として根強く、当社サービスの需要拡大を抑制する要因となっております。

このような状況下において、当社グループは持続的な成長を目指し、「営業推進基盤・体制の強化」「生産性の向上」「お客様視点に立ったサービスの拡充」「人的資本の開発・活用」「事業活動を通じた社会課題解決への貢献」に取り組んでまいりました。

なお、「営業推進基盤・体制の強化」並びに「生産性の向上」につきましては、新規エリアとなる広島県に、2023年4月1日付で広島営業所を開設しました。今後も、営業エリアの拡充を一層推し進めてまいります。また、テレビCM・新聞折込・WEB広告等の積極的な広告宣伝を展開するとともに、設立50周年の記念ロゴや、芸能人アンバサダーを活用した販売促進に取り組み、当社並びに白蟻防除の必要性を幅広くアピールしてまいりました。さらに、営業効率化に資する業務のシステム化にも取り組みました。しかしながら、売上高の伸びにつながる十分な効果を得るには至りませんでした。

「お客様視点に立ったサービスの拡充」につきましては、お客様満足度の向上を図るべく、高い付加価値および充実したサービスの提供に努めてまいりました。

「人的資本の開発・活用」につきましては、積極的な採用活動と研修センターを中心とした人材教育を継続し、従業員が心身健康で活躍できる企業風土と職場環境の整備に取り組んでまいりました。

「事業活動を通じた社会課題解決への貢献」につきましては、住まいの安全と環境保護につながるサービスの拡充を推し進め、社会に貢献してまいりました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比199百万円減少(2.5%減)の7,618百万円となりました。

売上原価は、前年同期比46百万円減少(2.0%減)しました。その結果、売上総利益は同152百万円減少(2.8%減)の5,330百万円となり、売上総利益率は同0.2ポイント低下して70.0%となりました。

販売費及び一般管理費は、主に営業用販促費の増加により、前年同期比117百万円増加(2.7%増)しました。その結果、営業利益は同270百万円減少(23.7%減)の869百万円となり、営業利益率は同3.2ポイント低下して11.4%となりました。経常利益は同255百万円減少(22.0%減)の902百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同182百万円減少(24.1%減)の577百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社グループの業績(特に利益)は、第2四半期連結累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の売上高が増加するためであります。この季節的変動により、四半期連結会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前期末比402百万円増加し、14,859百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

負債は、前期末比99百万円増加し、2,826百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加であります。

純資産は、前期末比302百万円増加し、12,033百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は81.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末比274百万円増加の6,932百万円となりました。

営業活動により増加した資金は628百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益902百万円、主な減少要因は、法人税等の支払額293百万円であります。なお、前年同期の増加した資金は1,023百万円でした。

投資活動により減少した資金は25百万円となりました。なお、前年同期の減少した資金は11百万円でした。

財務活動により減少した資金は328百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払額341百万円であります。なお、前年同期の減少した資金は305百万円でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などにつきましては、2023年5月9日公表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,657,591	6,932,081
売掛金	1,656,368	1,745,550
製品	67,502	79,955
仕掛品	13,752	25,745
原材料及び貯蔵品	230,103	222,555
その他	206,489	224,224
貸倒引当金	△1,168	△1,150
流動資産合計	8,830,640	9,228,961
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,357,836	1,353,353
土地	2,981,584	2,981,584
その他(純額)	111,454	138,222
有形固定資産合計	4,450,876	4,473,160
無形固定資産		
のれん	83,462	73,643
その他	41,648	50,547
無形固定資産合計	125,110	124,190
投資その他の資産		
その他	1,058,006	1,041,044
貸倒引当金	△7,050	△7,504
投資その他の資産合計	1,050,956	1,033,540
固定資産合計	5,626,943	5,630,892
資産合計	14,457,583	14,859,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	335,038	285,773
1年内返済予定の長期借入金	197,605	158,403
未払法人税等	338,095	378,131
賞与引当金	292,413	290,014
その他の引当金	—	22,000
その他	1,033,798	1,142,906
流動負債合計	2,196,950	2,277,228
固定負債		
長期借入金	226,818	287,316
退職給付に係る負債	71,702	54,647
その他	230,919	206,905
固定負債合計	529,440	548,869
負債合計	2,726,391	2,826,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,195	1,161,195
資本剰余金	863,941	867,041
利益剰余金	11,812,857	12,049,578
自己株式	△2,018,473	△1,999,951
株主資本合計	11,819,520	12,077,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	652	383
退職給付に係る調整累計額	△88,980	△44,490
その他の包括利益累計額合計	△88,328	△44,107
純資産合計	11,731,192	12,033,756
負債純資産合計	14,457,583	14,859,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,818,030	7,618,833
売上原価	2,334,219	2,287,948
売上総利益	5,483,810	5,330,884
販売費及び一般管理費	4,343,585	4,461,242
営業利益	1,140,225	869,642
営業外収益		
受取利息	564	1,767
受取保険金及び配当金	20,575	31,678
その他	5,761	9,587
営業外収益合計	26,900	43,033
営業外費用		
支払利息	2,733	2,340
リース解約損	—	2,392
支払手数料	3,768	3,752
その他	2,461	1,219
営業外費用合計	8,963	9,704
経常利益	1,158,163	902,971
税金等調整前四半期純利益	1,158,163	902,971
法人税、住民税及び事業税	414,964	330,883
法人税等調整額	△17,117	△5,261
法人税等合計	397,846	325,622
四半期純利益	760,317	577,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	760,317	577,349

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	760,317	577,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△269
退職給付に係る調整額	23,622	44,490
その他の包括利益合計	23,532	44,220
四半期包括利益	783,849	621,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	783,849	621,570

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,158,163	902,971
減価償却費	59,076	59,795
のれん償却額	9,819	9,819
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	158	435
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,811	△2,398
受取利息及び受取配当金	△564	△1,767
支払利息	2,733	2,340
リース解約損	—	2,392
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,581	△88,275
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△41,642	△16,992
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,369	△49,265
その他	132,642	100,201
小計	1,255,247	919,257
利息及び配当金の受取額	645	1,768
利息の支払額	△2,763	△2,345
法人税等の支払額	△229,496	△293,248
リース解約損の支払額	—	△2,392
その他	259	5,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,023,892	628,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△14,646	△29,082
その他	2,678	3,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,967	△25,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△108,286	△128,704
配当金の支払額	△340,336	△341,889
その他	△7,370	△7,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305,992	△328,318
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	705,932	274,489
現金及び現金同等物の期首残高	6,656,770	6,657,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,362,703	6,932,081

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。